

中小企業のデザイン導入、活用への第一歩

2022年度 東京ビジネスデザインアワード 企業からのテーマ募集開始

東京発・中小企業 × デザイナーによる新ビジネス創造型のデザインコンペティション
独自の技術・素材を持つ都内中小企業からの参加応募を受け付け

募集期間 2022年4月13日(水)～6月22日(水)

東京都内の中小製造業活性化策として東京都が主催し、公益財団法人日本デザイン振興会(会長:内藤 廣 所在地:東京都港区)が企画・運営を行う東京ビジネスデザインアワードは、本年度のアワードの「テーマ」となる、都内中小企業を持つ独自の「技術」「素材」などの募集を4月13日(水)～6月22日(水)に実施します。

本年度11回目となる東京ビジネスデザインアワードは、企業から募集した「テーマ」を活用した新規用途開発やビジネス全体のデザイン提案をデザイナーから募る、企業参加型のデザイン・事業提案コンペティションです。2012年の事業開始以来、企業テーマとしてこれまで採用された中小企業の「技術」「素材」は110件以上、デザイナーからの提案数は延べ1300件以上、マッチングから20件以上の実現化、協働事例が生まれています。

募集した「テーマ」は、デザイナー、パイヤー、弁理士など専門家で構成される審査委員会による審査を経て7～10件程度が選定されます。その後、「テーマ」として選定された企業の「技術」「素材」などに対してデザイナーより提案を募り、企業の「テーマ」とデザイナーの提案のマッチングを実施します。マッチング成立後は、実現化に向けての協働がスタート、プレゼンテーション方式の最終審査を経て、最優秀賞・優秀賞を決定します。「テーマ」に選定された企業に対しては、アワード終了後も1年間継続して審査委員と事務局が知財戦略などのアドバイスを提供し、事業提案の実現を通じた中小企業のものづくり、新規事業の実現をサポートしていきます。

2022年度の主なスケジュール(予定)

4月13日(水)	▶ 概要発表・企業からのテーマ募集開始
9月	テーマ発表・デザイナーからの提案募集開始
11月	デザイナーからの提案審査
12月	企業・デザイナーのマッチングの成立(テーマ賞決定)
2023年1月	テーマ賞発表
2023年2月	提案最終審査・最優秀賞、優秀賞発表・表彰

【本アワードの特徴】(参加企業のメリット)

- ・都内ものづくり中小企業の技術・素材をテーマに、資源活用やブランド構築に向けたプロセスをデザイナーが商品単体ではなく事業全体を読み込んで提案。自社ブランド立ち上げや既存事業の価値向上を図ることができる。
- ・経営者とデザイナーが密に協働することで、企業の経営資源活用やブランド構築に向けたプロセスを積み上げられる。
- ・「デザイン経営宣言」をはじめとしたデザインを経営に取り入れる動きやノウハウを学ぶことができる。
- ・アワード終了後も1年間、専門家からのアドバイスを中心に、商品化、事業化および販売促進への支援を受けることができる。

【テーマ募集にかかる企業向け応募相談実施(オンライン)】

■日時:5月16日(月)～6月15日(水) 10:00-12:00、13:00-17:00(1件当たり15～20分)

応募を検討される企業向けに、オンラインでの個別相談を随時実施します。ご希望の方は、事務局まで件名に「オンライン相談希望」と明記の上、企業名/業種/ご担当者・参加者氏名/電話番号/メールアドレス/希望する日時を複数記入の上、事務局までメールでお申し込みください。詳細はウェブサイトをご確認ください。

応募相談申し込み:tokyo-design@jidp.or.jp



2021年度「提案最終審査・最優秀賞、優秀賞発表・表彰」の様子

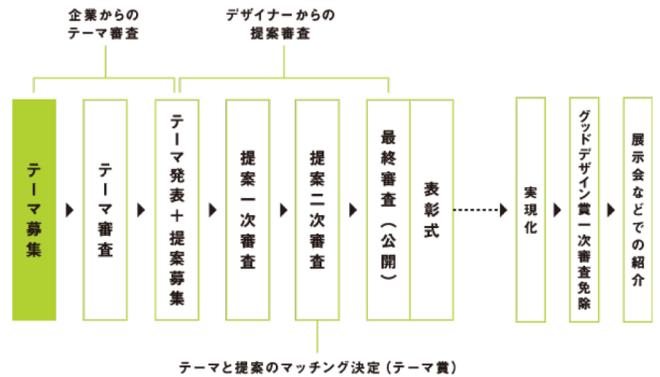
【2022年度 東京ビジネスデザインアワード・企業応募概要】

- 応募資格 東京都内の中小企業または個人事業主
- 賞・賞金(応募技術、素材がテーマとして選出された後、デザイナー提案とのマッチングを経て最終審査会にて決定)
 - 最優秀賞 1件 副賞:賞金100万円(企業/デザイナー各50万円)
 - 優秀賞 2件 副賞:賞金20万円(企業/デザイナー各10万円)
 - テーマ賞 各テーマにつき1点 ※審査の結果「該当なし」となる場合があります。
- 応募費用 無料(交通費、郵送費、通信など参加にかかる実費は応募者負担)
- 募集期間 2022年4月13日(水)～6月22日(水)【当日消印有効】
- 応募方法 ウェブサイトより募集要項・応募用紙をダウンロードし、必要事項記入および必要書類を添付の上東京ビジネスデザインアワード事務局に郵送してください。
 - 東京ビジネスデザインアワード事務局(公益財団法人日本デザイン振興会内)
 - 〒107-6205 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5階 TEL:03-6743-3777・E-mail:tokyo-design@jdp.or.jp
- 主催:東京都 ■企画・運営:公益財団法人日本デザイン振興会
- 東京ビジネスデザインアワード ウェブサイト <https://www.tokyo-design.ne.jp/award.html>

【2022年度スケジュール】

企業からのテーマ募集期間	4月13日(水)～6月22日(水)
テーマ審査期間	7月上旬
テーマ発表	9月上旬
デザイナーからの提案募集	9月上旬～10月下旬
提案審査(一次、二次)	11月中旬～下旬
テーマ賞(マッチング)発表	2023年1月
最終審査・表彰式	2023年2月

※上記スケジュールは変更になる場合があります。



ご参考【2021年度アワード結果概要】

企業テーマ数:12件 デザイナー提案数:155件 マッチング(テーマ賞):11件

<最優秀賞>

提案名:特殊印刷加工技術を応用したプロダクトと実験ブランド開発
 内容:特殊印刷加工技術の研究・発信ブランド「印刷加工実験室」
 提案者(デザイナー):歌代 悟(クリエイティブディレクター / デザイナー)
 企業テーマ:広色域の印刷表現と立体的質感を表現する「印刷技術」
 企業:株式会社 新晃社(北区)



・参加企業の声

[応募技術(テーマ):あらゆる仕様をユーザーが選べるノート設計システム](2019年度)

[ビジネス化事例:文具史上初のリングレス・ルーズリーフバインダー・Slide Note]

中小企業がビジネスにおいてデザインの必要性を感じたときに、デザインをサポートしてくれるパートナーを一から選定するにはその探し方をはじめ、課題の共有やデザインの検討など多くの時間と手間がかかります。本アワードでは、既に自社の強みや課題を伝え、それを踏まえた上でのデザイナーからの提案とダイレクトに出会えるため、マッチング後はすぐに課題に対しての具体的な打ち合わせに進むことができました。このスピード感が大きな魅力だと感じました。



[株式会社 研恒社 代表取締役 神崎 太一郎 氏]

[応募技術(テーマ):精密な柄合わせと職人芸が光る「革製品製造技術」](2020年度)

[ビジネス化事例:東屋ビジネスデザインプロジェクト]

素材や色、作りなどにこだわって大切に作ってきた製品を、自社だけの力で販売につなげることがとても難しく感じていました。東京ビジネスデザインアワード応募のきっかけは、新商品開発だけでなく、悩んでいた販売方法やマーケティングについても一緒に考えていただけるデザイナーさんとのご縁をいただけたらという希望がありました。デザイナーさんの視点で、今あるアイテムを見せ方や販売の方法を変えることで新しいお客様アプローチしてゆくことができる、そのような可能性があることを実感しています。



[有限会社東屋 代表取締役 木戸 麻貴 氏]

「東京ビジネスデザインアワード」主な提案実現事例

これまでにマッチングした企業とデザイナーによる提案実現事例は20件以上。

販売商品が国内市場はもとより海外でも好評を博するなど、実績を重ねています。また、現在進行中のプロジェクトやマッチングから派生した、他プロジェクトでの協働事例も多数。アワードを超えて、中小企業とデザイナーとのビジネスが始まるきっかけを提供しています。

商品化の事例は、東京ビジネスデザインアワード公式ウェブサイトで公開しています。

<https://www.tokyo-design.ne.jp/award.html>

「wemo」 2016年度 優秀賞・テーマ賞

株式会社コスモテック[立川市]×今井裕平、林 雄三、木村美智子 [kenma Inc.]

腕や手にペンで直接書く「手メモ」の問題解決としてウエアラブルメモを開発。看護現場でのリサーチをはじめ、農作業や高所作業、水産現場など、さまざまなシーンでの使用展開を提案しバンドタイプとシールタイプの2種類を発売した。日本文具大賞優秀賞受賞など大きな反響を呼び、メディア掲載も多数。バリエーションも増え、累計60万個を売り上げる大ヒットシリーズとして国内外で展開している。

<https://www.wemo.tokyo/>



「irodo」 2017年度 最優秀賞・テーマ賞

株式会社扶桑[葛飾区]× 榎原美歩[株式会社GoodTheWhat]

さまざまな生地素材にアイロンなしで貼れる転写技術を用い、ユーザーが気軽にDIYやリメイクに活用できるシート。熱源を使わないため、年齢を問わずに楽しめる。「生地をカスタマイズする」という今までにない新しい文化を発信している。

<https://irodo.tokyo/>



「tetote(テトテ)」 2018年度 優秀賞・テーマ賞

東洋工業株式会社 [江東区] × 中村 知美 [LURA Design Studio]

キャンドル製造技術とアロマブレンド技術を生かした、定形郵便で送ることができるアロマキャンドル付きのメッセージカード。キャンドル文化を根付かせるために、灯りと香りを気軽に楽しむ新しいコミュニケーションの形を提案している。

<https://te-to-te.tokyo/>



「METALFACE」 2018年度 最優秀賞・テーマ賞

株式会社技光堂 [板橋区]×今井裕平、林 雄三、木村美智子、鈴木杏奈 [kenma Inc.]

樹脂素材に金属調の特殊印刷を施す技術を多面的に生かした、ビジネスモデルの提案。次世代のプロダクトデザインの課題を解決する画期的な技術で、現在、IT プロダクト向けのインターフェイス「METALFACE」として、プロジェクトが進行中。

<https://www.metalface.tokyo/>



「香の具」 2018年度 優秀賞・テーマ賞

GRASSE TOKYO (グラストウキョウ)株式会社 [江東区]× 清水 覚、山根 準、山根芽衣、安次嶺彩香

100%天然のエッセンシャルオイルと塗料を混ぜ合わせた新しい絵の具ブランド。絵の具の色を混ぜるように、自分で調香して、香りのしゅみを学ぶことができる。ブレンドという切り口で、香りを楽しみ生活に取り入れるきっかけを提案している。

<https://kanogu.tokyo/>

